

(一社) 全国高等学校PTA連合会
 会長 佐野 元彦
 賠償責任補償制度運営委員会
 委員長 木戸 浩久

全国高P連 賠償責任補償制度 平成29年度掛金改定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は『全国高P連 賠償責任補償制度』(以下 本制度)の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

平成14年度より『高校生が期せずして事故の加害者となってしまった際に、生徒とご家族の経済的・精神的苦痛を少しでも和らげることのできるよう』賠償責任補償制度を設立し、15年にわたり制度の安定運営と発展に努めてまいりました。

平成28年度に関しては、自転車保険義務化の広がりや、各PTAにおける本制度への理解が深まったことで、加入校が103校増え、130万人を超える加入者となりました。

さて、本制度に関し、かねてより自転車事故を中心とする賠償事故における保険金支払の高額化、並びに事故発生頻度の増加を主な原因として、下記のとおり制度としての収支が取れない状況が続いております。

かかる状況をふまえて、賠償責任補償制度運営委員会において本制度を長期安定的に運営していく観点で、2年にわたり今日的な本制度のあり方について引受を行う保険会社も交えて議論を重ねてまいりました。

その結果として、平成29年度加入分より生徒1人あたりの年間掛金を300円から400円に改定することを委員会として決定し、平成28年5月22日の全国高P連理事会にて決議いたしました。

掛金改定に至る背景を、下記の通りご説明申し上げますとともに、諸事情ご賢察いただき、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 賠償責任補償制度加入状況・収支状況

■ 学校・生徒加入状況

年度	加盟学校数	加盟生徒数	加入学校数	加入生徒数	学校加入率	生徒加入率
平成22年度	4,205	2,281,281	1,895	1,101,935	45.07%	48.30%
平成23年度	4,150	2,261,598	1,734	1,006,592	41.78%	44.51%
平成24年度	4,125	2,254,186	1,820	1,067,488	44.12%	47.36%
平成25年度	4,065	2,253,883	1,902	1,118,742	46.79%	49.64%
平成26年度	4,054	2,275,062	1,985	1,182,611	48.96%	51.98%

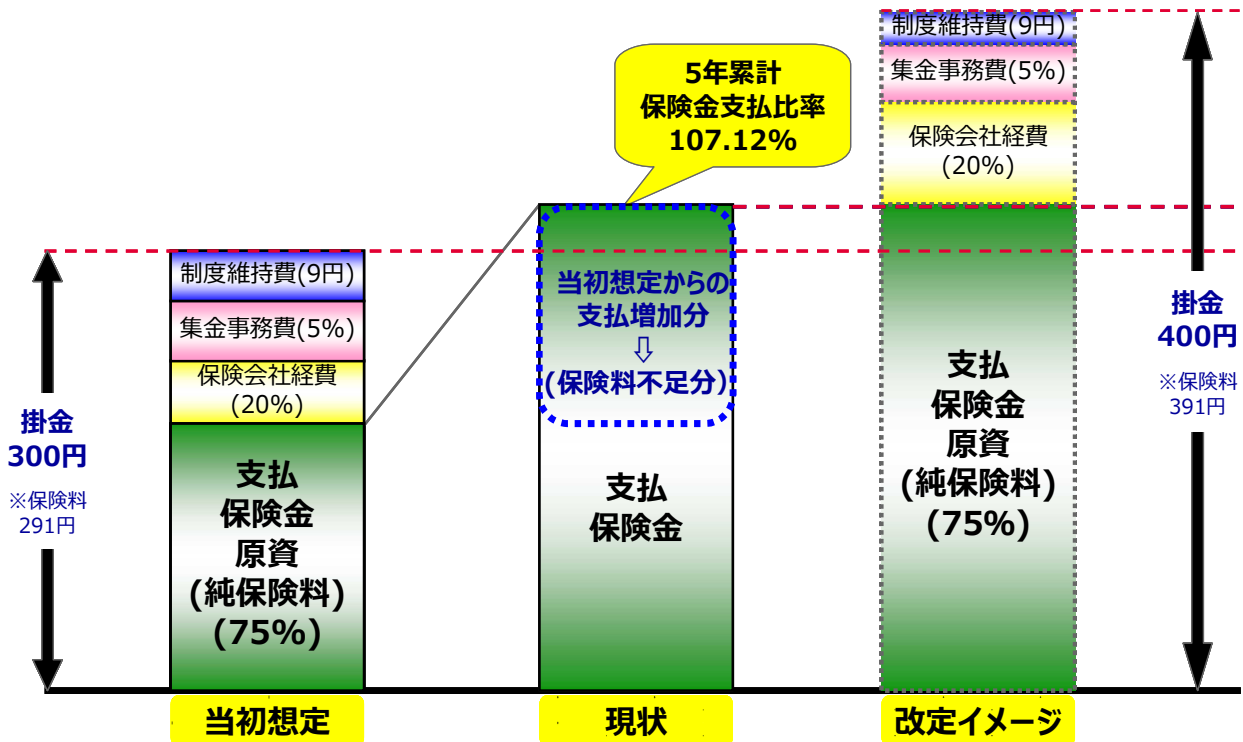
■ 事故発生状況

年度	保険料 (千円)	支払金額 (千円)	支払件数	支払金額比率	(参考)純保険料 支払金額比率
平成22年度	208,382	310,878	1,392	149.19%	198.92%
23年度	291,128	355,932	1,328	122.26%	163.01%
24年度	307,657	395,475	1,514	128.54%	171.39%
25年度	322,681	266,807	1,581	82.68%	110.25%
26年度	342,010	247,517	1,652	72.37%	96.50%
5年間累計	1,471,858	1,576,609	7,467	107.12%	142.82%

75%水準
を想定

100%超で
採算ライン
を割り込む

2. 平成23年度掛金改定時シミュレーション及び今回シミュレーション



平成23年度の掛金改定時の想定と比べ、支払保険金の増加が顕著であり、制度維持費(9円、全高P連に支払い)、集金事務費(5%、全高P連経由都道府県市P連に支払)、保険会社経費(募集経費、事故対応サービス経費、契約管理経費等に充当されるもの)を捻出できない状況が長らく続いています。保険料対比の支払保険金を75%水準とすることで、中長期的に安定した制度運営を目指してまいります。

3. 中長期的に安定した制度運営に向けて

全国の高校生の健全な成長に資する本制度を、中長期的に安定した運営を行っていくために、全国高P連として以下の取組を推進してまいります。

①本制度加入状況・収支状況の定期的なモニタリングと働きかけ

引受保険会社より定期的に参加状況・収支状況の報告を受け、安定した制度運営に向けて委員会を中心に取り組んでまいります。

②Twitter広告等の取組を通じた、自転車事故削減に向けた取組

Twitter広告や交通安全を啓蒙する取組を通じ、支払保険金の大きなウェイトを占める“自転車事故”の削減に取り組んでまいります。

③本制度の安定運営に向けて、未加入校に対する加入促進

重大事故発生時の本制度収支への影響を平準化すべく、未加入校への加入促進に取り組んでまいります。